

2020 年度 NACCS 地区協議会議事概要

- I 開催期間：2021年2月10日（水）から2021年3月4日（木）まで
- II 開催地区：
航空5地区- 成田空港、羽田空港、中部空港、関西空港、福岡空港※
海上11地区- 札幌、仙台、東京、横浜、清水、名古屋、大阪、神戸、広島、博多※、那覇※
※（福岡空港、博多及び那覇地区は、事前アンケートの結果、WEB会議でなく、アンケート調査、個別対応により実施）
- III 出席委員等：委員及び当社からの出席者については、後掲「出席委員等名簿」に記載
また、当該名簿に記載された出席者のほか、関係者も出席
- IV 議事概要
第I部は「2020年度NACCS地区協議会」（資料）に基づき、当社から説明を行った。
第II部以降の意見交換内容については発言概要を記載する。

（2020年度NACCS地区協議会 議事次第）

第I部 NACCSセンターからのお知らせ

- (1) 第6次NACCS中年度更改に関するお知らせ
- (2) 第7次NACCS基本仕様説明動画

第II部 コロナ禍における地区協議会開催方法の変更について（意見交換）

- (1) 地区協議会開催方法の変更について
- (2) 地区協通信について
- (3) 地区協委員の役割について

第III部 NACCSを有効活用するための取り組みについて（意見交換）

- (1) 虎の巻マスターシリーズの掲載
- (2) チャットボットで業務系エラーコードへの対応開始

（発言概要）

第II部 コロナ禍における地区協議会開催方法の変更について

(1) 地区協議会開催方法の変更について

〔成田空港・羽田空港地区〕

- (委員) WEB会議形式での開催は非常にありがたい。今後WEB会議形式での開催となった場合、会議への招待メールは、地区協委員に対して送信され、地区協委員から委員以外の業者にメールを転送してWEB会議に参加していただくのか。それともある程度リスト化しておいて、NACCSセンターから招待メールを直接送信するのか。
- (当社) 委員様としては、どのような形式で招待メールの送信や募集を行うのが良いと思われますか。弊社としても現時点で募集方法は決定していないため、ご意見を伺いたく存じます。
- (委員) 多くの方に参加いただき、意見をいただきたいので、委員に招待メールを送信いただき、各地区の業者に自由に転送して会議に参加していただく方法を希望する。
- (当社) 多くの方に参加していただき、多くの意見をいただく方法の一例として、NACCS掲示板に開催予定を掲載するウェビナー形式が挙げられますが、いかがですか。
- (委員) Teamsは参加者が増えると、通信障害やマイクのハウリング等問題が発生しないか心配なため、参加者数や対策を今後考えていただければと思う。委員が各業者にメールを転送するのも負担であるため、NACCS掲示板に開催予定を掲載するウェビナー形式のやり方には賛成する。
- (委員) 今回WEB形式で地区協議会を開催していただき、久方ぶりに業界内の会合に参加出来た。コロナ禍で業界内の意見交換が一切行われていない状況下であるため、

こういったツールを使用して、もっと活発な意見集約を行っていただきたい。7次 NACCS 更改についても、どの程度意見集約が進んでいるか知りたく、意見を申し上げたい。今まで地区協議会は年1~2回の開催だったが、回数を増やして参加者からの意見集約が多く行えることを希望する。

(委員) コロナが終息した後もこのWEB形式を基本とした新しい形で地区協議会を行っていくのか、それとも従来の対面形式に戻すのか、どちらか。

(当社) コロナ終息後も従来の対面形式は行わない方向で考えています。WEB形式であれば、地区協議会が設定されていない地区の方々のご意見も、場所に関係なく広くお伺い出来ると考えています。

(当社) 募集方法や開催頻度について、他にご意見等ございましたらご発言をお願いします。

(委員) 開催頻度については、四半期ごとに1回の開催を目途にしてはいかがか。

また、通信障害が発生した場合には、NACCS 掲示板に文書を掲載するだけでなく、都度会議を開催して原因を報告・説明していただきたい。全利用者を対象とするか、地区協議会のみにも留めるのかについては、NACCS センターの判断に任せる。

(委員) 開催頻度について、現段階では、年2回の地区協議会が多いとも少ないとも感じない。例えば、第7次 NACCS 更改に向けての意見集約を行う場合、様々な意見が挙がると想定され、年4回の開催では足りないかもしれない。NACCS センターでは、どのようなテーマで地区協議会を行う予定か。適切な開催頻度はテーマ次第だと思う。

(委員) 適切な開催頻度はテーマによって変わる。現行は年2回程度で、システムに変更がある場合には追加で行っても良いと思う。協議会の内容は全国展開ではなく、地区単位で行う方が意見集約を行いやすいと思う。

(当社) ご希望の開催テーマがあればご発言ください。

(委員) 例えば、Windows 7からWindows10に切り替えた場合等、定期的にテーマを決める形式が良いと思う。

(委員) 第7次 NACCS 更改について、地区協議会を通じて意見集約を行っていただきたい。

(委員) プログラム変更について、WEBで具体的な説明を行っていただきたい。

(当社) プログラム変更についてWEBで説明を行う場合、双方向にやり取りが出来るWEB会議形式と、掲示板に動画を掲載する形式であれば、どちらがよろしいですか。

(委員) 会社によっては規制がかかって動画を閲覧出来ない場合がある。そのため双方向にやり取りが出来るWEB会議形式が良いと考える。

〔東京・札幌地区〕

(委員) WEB形式で会議を実施する事は問題ない。同じ地区でも異なる状況下で異なる考えを持つ他社が集まって話し合いをする地区協の様な場は重要で、多様な意見が集約できると考える。

(当社) WEB形式の会議に移行すると地区協委員の役割も変わっていくと考えております。どの様な役割を務めていく事になるとお思いますか。ご要望という形でも大丈夫です。ご意見をください。

(委員) 地区協委員の役割について、希望する変更項目はない。地区協委員であるメリットの1つは、通常よりも早くNACCSに関する情報を入手出来る点である。また自社で把握していない情報の周知もあるのでありがたいと感じている。地区協委員の様な立場で多くの会社に参加出来る様になると、より多様な情報が取り扱われ、享受できる場となると思う。

(当社) 参考にさせていただきます。

(委員) 今後の変更案とされた委員の選出方法、会議の形式は問題ない。WEB形式に移行する事により物理的な制約から解放されて、これまでの地区協議会の枠組みよりも参加できる対象を増やす事、会議自体の参加者人数を増やす事にも対応出来るようになると考えている。そのため、地区協委員よりも広く参加者を募っても良いと思う。

(当社) 会議の形式について柔軟に対応したいとお思います。

現状の地区協でない新たな地区で会議を開催する場合、貴社の参加者は、東京地

- 区を担当頂いている委員様ではなく、新たな地区を担当している方になりますか。
- (委員) その地区を担当する弊社の他の支店の所属者からの参加も考えられる。また、私が所属する業界団体の東京通関業会には複数の支部・分会があり、その支部・分会の担当者が出席する事も考えられる。
- (当社) 現在の地区協議会開催時は直接弊社より地区協委員に開催のお知らせをさせて頂いております。支部・分会の参加のお話をいただきましたが、どの様な方法で会議参加者を募るのが良いかお考えはありますか。
- (委員) 例えば、東京通関業会、横浜通関業会へ「現在の地区協議会委員以外の参加を募集する」旨を伝えていただければ、支部・分会へ連絡し、参加者を募る事も出来るのではないかと考えている。
- (当社) 業界本部を通じての支部・分会の参加募集のご連絡にご協力いただけるという事です。
- (委員) 現状その様に考えている。
- (当社) 今後の参考にさせていただきます。他の委員の方はWEB 会議を開催するにあたり、どの様な募集方法が良いかご意見がありますか。
- (委員) 日本全国北から南まで港（地域）ごとに情勢が異なる。地域ごとの通関業者等で話し合う場合でも各業者で抱えている事情、トラブルがある。そのため、地域ごとに関係者を集め、話し合いの場を用意して案件を吸い上げる事、さらには解決に導く事が出来たら良いと思う。さらには各地域の代表者を選出して、その代表者で開催する全国規模のWEB 会議を行うも良いと思う。
- (当社) 委員様のご提案では、弊社の方で各地域のWEB 会議を取り仕切り、その案件を吸い上げて再度全国規模のWEB 会議を行うという事ですが、その様な形式に移行した場合、地区協委員の役割はどの様な思いですか。現在は委員の方を通して、委員の方が担当している地区の意見を吸い上げて頂いていると認識しております。
- (委員) 全国各地で開催する形式では、現状の様な地区協委員を各地域に作ると大人数の管理を1社で行う事となるため実質不可能であり、地域の代表者を選出する必要があると思う。選出方法は、現在の地区協委員がそのまま代表者に移行するか、または全国規模のWEB 会議に参加する事になる代表者に新たにその地域の委員へ任命する方法が考えられる。
- (当社) 参考にさせていただきます。なお、いただいたご提案では、今後WEB 会議を弊社で開催させていただく際も、地域の代表者が地域の総意として、意見を取りまとめさせていただく事になるという認識です。その場合、現状の地区協委員という名称も変更が必要ではないかと考えておりますが、ご意見ございますか。
- また、地区協議委員の役割が仮に全国規模の会議に向けての地域の意見の取りまとめになった場合、支障やご負担はございますか。
- (委員) 各社が抱える事情が異なるので、地域ごとでも大人数の意見は取りまとめ出来ないと考える。ある程度人数を絞って会議を開催する必要がある。また、今回札幌地区の方と初めて同じ会議の場につけた事もとても有効だと考えている。
- その他意見を上げると、7次更改に向けてWG（ワーキンググループ）の情報等、様々な情報を共有できる場を設けていただけると良いかと思う。
- (当社) これまでのご意見から全国各地での会議開催は、概ね問題ない意向であると認識しております。その場合、地区という枠組みから外れることにはなりますが、参加頂いている税関としての立場から困りごとはありますか。税関様から何かありますか。
- (委員) WEB 会議開催に関して特段意見ない。WEB 会議形式に今後移行し広く会議を行うのであれば、会議のテーマに応じて必要な職員を参加させたいと思う。
- (委員) 全国規模、地区ごとの開催でも問題ないと考えている。現在の地協議会には、総務部から参加しているが、テーマごとの会議であれば、総務部以外の部署の職員が参加することも考えられる。
- (当社) これまでは1回の会議で、複数の業種の方が一同に会して、その場で意見集約を行ってきました。今後は業種ごとに会議を行う事も可能で、会議参加者の募集方法についてもNACCS 掲示板で募集案内を掲載することもできると考えております。
- 開催形式が変更された場合に、地区協委員の皆様への負担等、ご意見はございますか。

- (委員) 輸出入者の立場としては、これまでの会議は通関に関する議論テーマが多い様に見受けられた。輸出入者に関わりが深いテーマを取り扱う会議は、輸出入者のメンバーを集めて開催してほしい。
また、通関データの上流での情報入力 (IVA や SIR) についても、輸出入者の主体的な NACCS へのかかわりとして関心のある部分である。
- (当社) 輸出入者として現在興味があるテーマがあればお伺いしたい。
- (委員) NACCS の許可データ等の管理業務や延納担保に関するテーマについて興味がある。
- (当社) 今後の開催テーマの参考にさせていただきます。
- (当社) 今後 WEB 形式の会議に移行していくと、より個別に会議の開催が可能になると考えております。その場合、どの様なテーマの会議を行いたいかさらにご要望をお伺いしたいです。また移行により負担が増える等ご懸念事項がありましたらご意見ください。
- (委員) WEB 形式への変更はメリットが多いと感じている。今後多様な会議形態の展開ができると期待している。業界や業種ごとが良いが、逆に1つの業務にかかわる複数の業界からの参加者を集めて、業務ごとのテーマでも開催できると思う。ただし、あまりにも会議が増えると開催を準備する事務局側の負担が多くなるので、定例による会議を止めて、必要に応じて会議を開催する方向が良いと考える。その場合、会議が必要であるかどうかを判断する場を設ける必要も生じると思う。WEB 形式になるという事で、チャット機能の様な場を用意していただき、会議が必要になる事を察知していただける様なになれば良いと思う。例えば本会議開催に利用している Teams アプリでは、会議終了後でもチャット機能を利用して書き込みを行うとその参加メンバーに書き込み情報が流れる仕組みだったと思う。その様な意見交換ができるプラットフォームを作って会議開催を判断する事を提案する。
- (当社) いただいたご意見のとおり、今後の会議形式の変更により地区協委員の役割が大幅に変わる事が予想されますが、委員の皆様にご負担があっても対応していただく役割が残るとお思いますか。
- (委員) 役割については大幅に変わると思う。これまで自社は私1人で委員を担当していた。今後の WEB 会議ではテーマごとに自社の担当者を変え、私自身が対応する役割として考えられるのは、自社の意見集約の窓口、場合によっては自社の代表者として会議に参加する事と考えている。
- (当社) 今後の地区協委員の役割は、各地区の窓口ではなく、各自社の窓口になるというイメージですか。
- (委員) 自社の話になりますが、業務従事者の担当が地区ごとではなく、全国規模の業務ごとに統一しているため、地区という認識が低くなっている傾向がある。
- (当社) 他の委員の方のご意見も伺いたいと思います。今後の地区協委員の役割についての様なイメージをお持ちですか。
- (委員) 地区協委員のメンバーは NACCS ユーザーという共通事項のもと多様な業界から参加している。NACCS ユーザーの幅広い立場の為、共通する話題が少なく、共通する話題で盛り上がる事がない様に見受けられる。また参加しているメンバーの自社内の立場も多様である為、NACCS を使用する業務内容も異なり NACCS システムへの見方が一致していない。会議に参加されるメンバーの業種や使用業務内容を一致する様に整理する事で、活発な議論になると思う。また、WEB 形式は、共通話題の為に会議参加者をしぼるだけでなく、総括的な話題を扱う会議も行えるなど、異なる階層の話し合いの場を用意できるポテンシャルを持っていると思う。

〔横浜・仙台地区〕

- (委員) NACCS センター側の方で今後の会議形式を決めていただければやぶさかではない。地区協の代表委員として今までは団体から直接意見を言うことができ、様々な情報を得ることができたが、開催方法を変更にすることにより損なわれないのであれば特段問題はない。
- (当社) NACCS センターからのスピーディーな情報提供が懸念されているという認識でよろしいですか。
- (委員) 問題ありません。なお、WEB 開催にあたって、NACCS ユーザー対象となるこの

とだが参加人数が多くなり回線の問題はありますか。また、参加人数は絞れますか。

- (当社) 参加人数が多くなることでネットワーク障害等起こらないよう弊社内でテストを行い、開催を検討します。
- (委員) 情報提供がスピーディーであれば、会議形式については特段問題ない。
- (当社) 現在、NACCS 掲示板の新着情報をピックアップし地区協通信を配信させていただいているが、今後 RSS を登録していただければ今よりスピーディーな情報配信ができます。今後推奨していきたいと考えているがご意見を伺いたい。
- (委員) 業務上問題が起きたときにしか、NACCS 掲示板を閲覧することはないので、今後も地区協通信の配信を継続していただきたい。
- (当社) 地区協議会の名称変更も考えられます。今後、こういった変更についてのご意見をお願いします。
- (委員) 本日は私以外に複数のメンバーで参加している。委員だけではなく他のメンバーも含め 1 回で情報共有をしたく、そういった参加の方法を検討していただきたい。
- (当社) NACCS センターが検討しているオープン参加型と合致します。今後、ご希望に添える形になるよう引き続き検討します。
- (当社) WEB 開催は大人数で開催も可能となり、様々なご意見を伺えるようになると思っています。ご希望の内容についてご意見を伺いたい。
- (委員) 会議の窓口を広げると実際業務を行っている方が入るので、様々なご意見をいただけたらと思うが収拾がつかなくなるのではないかと。事前にある程度要望等まとめたくて、会議の場でお話しするというようなことはどうか。
- (当社) 開催前に会議内容や資料を周知し、明確な方針を打ち出して開催したいと思えます。
- (当社) 従前とは異なり業種別に絞った開催の場合の懸念事項、メリット等ご意見をお願いします。
- (委員) 様々な業種で集まると、気を遣ってしまい質問ができないため、業種別に絞ってやるのはいいと思う。

[中部空港地区]

- (当社) コロナ禍やデジタルトランスフォーメーションといわれる中で、WEB 形式での開催に何か支障等はございますか。
- (委員) 社内でも WEB 会議は頻繁に行われていますので、問題はございません。
- (当社) ご意見ありがとうございます。
- (委員) 弊社においても WEB 会議は一般化してきておりますので、WEB 形式での開催を基本として、柔軟に対応していただけるのは良いことだと思います。
- (当社) ご意見ありがとうございます。WEB 形式での開催になりますと、エリアに制限されず、全国規模で会議を開催することが出来るようになりますが、そういった場合に何か支障はございますか。
- (委員) 中部空港地区には、「ローカルルール」が存在しておりますので、地区を広げての開催となりますと、うまく話がまとまるのかなと不安は残ります。
- (当社) おっしゃるとおり、開催規模を広げますと、話がうまくまとまらない等の懸念もございますので、議題に応じて開催規模を検討していきたいと思えます。ご意見ありがとうございました。
- (委員) 近頃は、WEB 会議が一般化してきておりますので、WEB 形式の開催でも問題ないかと思えます。一点確認したいのですが、コロナ終息後も WEB 形式で開催していくという認識でよろしいですか。
- (当社) コロナ終息後も基本的には WEB 形式での開催を予定しております。
- (委員) 時代の流れ的にも WEB 形式での開催で問題ないかと思えます。ただ、地区協議会は同じ地区の方々と対面で情報交換できる場でもあったので、WEB 形式になることで、そういったことができなくなってしまうことが課題になってくるのかなと思いました。
- (当社) ご意見ありがとうございます。
- (委員) WEB 形式での会議は一般化してきていますし、WEB 形式であれば、在宅勤務時でも会議に参加できますので良いかと思えます。ただ、WEB 形式となりますと、一方

通行の説明になってしまうのではないかと懸念しております。

- (当社) ご意見ありがとうございます。議題によって小規模の開催にする等、柔軟に開催形態・規模を変更していけば、そういった懸念も少なるかと思いますが、いかがですか。
- (委員) 議題によって、開催形態・規模を変更していただけるのであれば、今までとおり情報交換ができそうですので、問題ないかと思います。
- (当社) ご意見ありがとうございます。ここまで、WEB 会議での開催についてご意見をいただきましたが、次に、地区協通信を RSS 機能へ変更することについて支障等あるかご意見をお伺いさせていただきます。
- (委員) メールでの配信に比べ、タイムリーに情報を確認できるので、良い試みだと思います。ただ、慣れるまで時間がかかりそうだなと思いました。
- (当社) ご意見ありがとうございます。今まで地区協議会委員様を通じて、地区協通信が展開されていた皆様にも RSS 機能を利用していただきたいと考えておりますので、ご協力いただけたらと思います。
- (委員) RSS 機能への変更について、特に支障等はございません。
- (当社) ご意見ありがとうございます。RSS 機能に変更になることで、新着情報が更新され次第、タイムリーに情報を確認することができますので、是非ご活用いただけたらと思います。続きまして、「地区協議会委員」の役割について、お伺いいたします。弊社としましては、地区協議会委員は、「地区の意見を聞いていただく地区の代表の方」という認識をしておりましたが、委員の皆様「地区協議会委員としての役割」についてのご認識はいかがですか。
- (委員) 社内の意見を集約し、会議の場で報告をする役割があると認識しております。
- (当社) ご意見ありがとうございます。
- (委員) 社内の意見を集約し、会議の場で報告をすることやいただいた情報を社内に展開することが地区協議会委員の役割であると認識しております。
- (当社) ご意見ありがとうございます。今後、WEB 形式での開催が基本になることで、地区の枠組みがなくなっていくことが考えられます。そうなりますと、地区協議会委員の方々の役割も変わっていくかと思いますが、この点に関してご意見等はございますか。
- (委員) 地区協議会委員であることで、地区特有のローカル情報を入手・共有できている面もありますので、ローカル色は残していただきたいと思います。
- (当社) 貴重なご意見ありがとうございます。皆様からいただいたご意見を参考にさせていただきます。今後につなげていきたいと思っております。

〔清水地区〕

- (当社) コロナ禍やデジタルトランスフォーメーションといわれる中で、WEB 形式での開催に何か支障等はございますか。
- (委員) とても良い試みだと思っております。場所に縛られずに色々な人が参加できるチャンスが生まれますし、当社でも Teams 会議は社内でも使用していて、メジャーなやり方であり、支障なく対応できる環境になっているので、この会議も WEB 形式ということであれば、デジタルトランスフォーメーションの面からも良い取り組みだと思っております。
- (当社) ご意見いただき、ありがとうございます。特に支障等はございませんか。
- (委員) 特に支障はありません。
- (当社) 現在、地区協議会は清水・名古屋・中部空港と地区ごとに会議を行っていますが、WEB 会議になりますと、エリアに制限されずに会議を開催することが出来るようになります。そういった場合に何か支障はございますか。
- (委員) 一点確認ですが、WEB 形式での会議になった場合も官庁の方も参加していましたが同じように官庁の方も参加されるのですか。
- (当社) 今回、税関様は参加頂いていますが、他の官庁の方々には今回はご参加いただけませんでした。
- (委員) 各官庁が参加するにはまだ制限があり、WEB でつなげて会議を行うのは難しいかもしれないと感じます。
- (当社) WEB 開催により、エリアの制限なく、全国から参加可能となることについてはい

かがですか。

- (委員) 色々な地域の方が参加し、一つの場を作ることは良いことだと思います。他の地域の方々の意見を聞く良い機会だと思います。
- (当社) ご意見いただき、ありがとうございます。もう1点お伺いいたします。現在は、年に1~2回の地区協議会開催となっておりますが、例えば、議題や業種別に開催回数を変えて行っていくことも考えております。こういった取り組みについて、支障等はございますか。
- (委員) 特に支障はないと思います。今は、全業種が一緒の会議に参加して、他業種の事も知ることができます。それが出来なくなると何か支障がでることもないと思いますので、そういった取り組みも良いと思います。
- (当社) 議題別での開催についてご意見はございますか。
- (委員) より具体的な話や専門的な話が出来る機会だと思いますので、良い取り組みだと思います。
- (当社) ご意見いただき、ありがとうございます。ここまで、WEB会議開催についてご意見をいただきましたが、次に「地区協議会委員」の役割について、ご意見をお伺いいたします。弊社としては、地区協議会委員は、その地区の意見を聞いていただく地区の代表の方との認識をしておりましたが、委員の皆様の「地区協議会委員としての役割」について、ご認識をお伺いいたします。
- (委員) 立場上、地区以外にも意見を聞いて、フィードバックするというを日頃から行っていますので「地区」についてとなりますと、別の委員にお伺いする方が良いと思います。
- (当社) 地区以外の方々の意見を集約いただき、ありがとうございます。
- (委員) 「地区」というよりは、「会社の代表」という認識でいました。
- (当社) 「会社の代表」というご認識とのことで、承知いたしました。
- (当社) 弊社では「地区協議会委員の役割」として、地区、会社内への議題周知、意見集約と認識をしておりましたが、今後、WEBでの開催によってエリア制限なく、開かれた場となっていくと、「地区協議会委員の役割」が変わっていくのではないかと考えております。今後、このように変わっていくのではないかと、また、このようにしていくと良いのではないかとといったご意見はございますか。
- (委員) 確認ですが、エリア制限なしとした場合、地区協議会委員だけでなく、NACCSユーザー全員に参加資格があるということになりますか。
- (当社) より広くご意見をお伺いするために、そのようにしたいと考えております。
- (委員) エリアを広げるとかなりの人数が参加となりますが、そうなった場合、システム負荷がかからないか、ユーザーのTeamsの操作の習熟度が違うため、例えば、操作慣れしていないため、会議が始まるのに時間がかかってしまうのではないかと懸念されます。また、全員が参加可能となると様々な意見が出て、意見集約が難しくなるのではないかと考えられますので、発言は、委員のみと制限をかけた方がいいのではないかと思います。
- (当社) 先ほどは、エリア制限なく、様々な方が参加可能とご説明させていただきましたが、一つの形として、WEBセミナーのような形で開催して、参加したいという方にご参加いただくというイメージをしております。ただ、先ほどおっしゃられたシステムの負荷等の懸念事項については考えなければならない点かと存じます。ご意見いただき、ありがとうございます。
- (委員) WEBセミナーということであれば、聞くことがメインとなるかと思いますが、「何か発言といった場合は委員に限る」等制限をした方が良いかと思えます。
- (当社) 貴重なご意見、ありがとうございます。また、皆様からいただいたご意見を参考にさせていただきます。今後につなげていきたいと思えます。

[名古屋地区]

- (当社) コロナ禍やデジタルトランスフォーメーションといわれる中で、WEB形式での開催に何か支障等はございますか。
- (委員) WEBでの開催は、時間や距離に捕らわれないという観点からも良い取り組みだと思います。ただ、事前に資料の共有いただき、内容を確認するという事は必要だと思います。

- (当社) おっしゃるとおり WEB 開催になりますと、時間や距離が関係なく、エリアの制限がなくなり、全国から会議に参加が可能となります。そうなった場合、支障等ございますか。
- (委員) 議題によって全国からの参加とする方が良いのではないかと思います。
- (当社) ご意見いただき、ありがとうございます。WEB での開催になりますと、異なる業種の方が参加となりますので、その中で共通の議題を考えなければいけないと思います。参考にさせていただきます。その他に支障はございませんか。
- (委員) WEB での開催で特に支障はありませんが、今までのような対面がなくなり、全国から参加されるとなると顔と発言が一致せず、なかなかコミュニケーションが取りにくく、発言するタイミングも WEB ではわかりにくい部分があるため、意見が出やすいという雰囲気ではないと思いますので、そういった懸念はあります。
- (当社) 人数が多くなる、対面でなくなり顔が見えなくなるということになりますが、今ですとコロナ禍でもあり、また、デジタルトランスフォーメーションとも言われる中でもありますので、今回、WEB 形式での開催を提案させていただきました。
- (委員) 全国からの参加となった場合、名古屋を含め各地区のローカルルールがありますので、意見がまとまるのかという懸念もあります。
- (当社) 「ローカルルール」は各地区にあるかと思いますが、例えば、業種別・議題別に開催し、人数もある程度絞って、各地区のローカルルールを交えて意見交換を行うという形はいかかですか。
- (委員) 議題別等でも良いかと思いますが、名古屋では NUTS を利用してバンピックオーダーを行う等、名古屋だけのルールがあると思います。各地区でそれぞれのローカルルールについて話し合いを行って、意見をまとめることができるのかと思います。
- (当社) NUTS になりますと名古屋特有のシステムになりますので、おっしゃるとおりの懸念事項は出てくるかと思いますが、WEB 形式での開催ですと、全国規模での開催や議題別・業種別での開催、ある程度人数を絞って複数回開催等、柔軟に開催形態を変えることが可能になります。こういった新しい取り組みを考えておりますが、このような開催方法について、何か支障等ございますか。
- (委員) 特に支障はありませんが、内部での手続きに時間を要するため、1カ月前には連絡をいただきたいです。また、議題別についても、特に問題はなく、その議題に沿った担当者を参加させます。
- (当社) 内部での手続き時間を要する場合は弊社でも承知しておりますので、早めに会議開催の周知を行いたいと思います。ご意見いただき、ありがとうございます。ここまで、WEB 会議での開催についてご意見をいただきましたが、次に、地区協通信を RSS 機能へ変更することについて支障等あるかご意見をお伺いさせていただきます。
- (委員) RSS 機能について、こういった機能なのか存じておらず、資料のとおり、登録を行えば今までと同じようにメールのように送られてくるということですか。
- (当社) RSS 機能は、メールとは少し違っていて、例えば、お持ちの携帯電話に RSS のアプリをインストールし、配信元の URL を登録していただきますと、新着情報が更新され次第、アプリに通知が届き、情報をご確認いただける仕様となっておりますので、外出されている時でも新着情報をタイムリーにご確認いただけます。大変便利な機能ですので、是非ご利用をお願いいたします。
- (委員) 地区協通信の配信は無くなるということですか。
- (当社) 今までのメール配信が無くなった場合、支障等はございますか。
- (委員) いただいた地区協通信のメールを全社へ展開していました。今後どのように展開していけば良いか検討します。また、個人の携帯電話へ RSS のアプリをインストールしてもらうというのはなかなか難しいと思いました。
- (当社) 携帯電話へインストールしていただきますので、その取扱いについて、各社様の規定等があるかと思いますが、携帯電話での RSS 機能利用が難しいということでしたら、会社のパソコンへ RSS の設定を行っていただきますと、更新通知の目印が表示されますので、こちらでご確認いただけたらと思います。
- また、今まで地区協議会委員様を通じて、地区協通信が展開されていた皆様にも RSS 機能を利用していただきたいと考えておりますので、ご協力いただけたらと

- 思います。
- (委員) RSS 機能利用の趣旨はわかりました。社内でも検討したいと思います。
- (当社) よろしくお願いたします。いただいたご意見については、参考にさせていただきます。次に「地区協議会委員の役割」について、ご意見をお伺いたします。弊社では「地区協議会委員の役割」として、各地区の意見を聞いていただく地区の代表の方との認識をしておりましたが、委員の皆様の「地区協議会委員としての役割」について、ご認識をお伺いたします。
- (委員) 地区協議会への参加、議題を社内へ周知し、社内の意見を集約する会社の代表という認識でおります。
- (当社) 「会社の代表」とのことで、承知いたしました。先ほど、WEB での開催について説明させていただきましたが、WEB 開催になりますとエリア制限もなくなり、地区協議会委員以外の方が全国から参加可能となります。そうなりますと「地区協議会委員の役割」というものが今までとは変わるのではないかと考えておりますが、今後、「地区協議会委員の役割」がどのように変わっていくか、ご意見をお伺いたします。
- (委員) 議題周知、意見集約はこれまでとおりだと思えます。業種別の開催で参加者が NACCS 業務を行っている実務者であれば、より具体的な議論が行えるのではないかと思いますので、そういった面で今までとは違う形になるのではないかと思います。
- (当社) 実務者の方にご参加いただきますと、より実務に即した意見交換も行えるのではと考えております。
- (委員) 今まで、地区協議会の議題を社内で展開していましたが、正確に実務者に伝えられていなかった部分がありますので、実務者が参加するということは非常に有意義だと思います。
- (当社) 実務者の方にご参加いただくことでより活発な意見交換を行うことができ、有意義な地区協議会になるのではないかと考えております。ご意見いただき、ありがとうございます。

[大阪・神戸・広島・関西空港地区]

- (当社) 前回の神戸地区協議会では、遠方エリアにおいても NACCS 関連の説明等を希望とのお話がありました。WEB を活用した対象エリア拡大について、ご意見いかがですか。
- (委員) エリア拡大は歓迎するが、オープン参加については懸念がある。現在、神戸通関業会が意見の事前集約を行い、その中から取りまとめを行ない提案している。オープン参加で事前集約不要になれば確かに負担は減るが、取りまとめが行われないことで收拾がつかなくなり、会議は長時間化するのではないかと。
- (当社) 会議の目的を合わせるために、まずはエリア毎の業界団体での代表幹事をさせている会社を集めて開催し、完全なオープンな参加は次回以降と段階的な開催についてはいかがですか。あるいは、地区協議会提供の資料やご意見について、周知するためのオープン参加はいかがですか。
- (委員) その形であれば問題ない。
- (当社) WEB 会議開催では、事前の資料共有やご意見の集約を行い、議論すべき点を整理してご提案しておかないと、うまく進行しないと思われませんか。
- (委員) 事前の資料提示によって、意見も出しやすく、会議は円滑に進行すると思われる。エリアを広げていくことは NACCS の機能を検証する上では良いことであるが、その反面、全業種で一斉会議を行うと議題の目的が逸れる可能性がある。例えば、通関業だけで会議を行ってみるのはどうか。
- (当社) 業種別開催とのご提案ですが、事前のアンケート結果では、通関では海空担当と分けるべきとのご意見もあったのですが、いかがですか。
- (委員) 各企業において担当分けをせず統合していることもあり、通関業として勉強になるので、海空を分けなくてもいいと思う。
- (当社) また、保税様側からは、業種別にするすることで、他業種との問題が見えなくなるのではないかとのご意見がありました。必要に応じ、例えば通関業と保税系様を合わせて開催することはいかがですか。

- (委員) 保税側の動きは通関にも関連するため、それも一案とは思いますが、
- (当社) エリアを越えた他空港の航空業界の保税業者としての合同開催には、メリットがあると思われませんが、一方、フォワーダー側との連携についてはいかがですか。
- (委員) 保税蔵置場や航空会社としては、フォワーダー・通関業者のご意見には、今後の蔵置場運営の参考となるべき点がある。業種別ではなく連携開催のほうがよい。
- (当社) 他のエリアの同業者と同じ会議に入ること、メリットがあると思われませんか。
- (委員) 新しい業務ができてはわからないこともあり、同じ会議に入って主要港の同業者の運用方法を知ることが、当社にとっても参考となる。
- (当社) WEB 会議では、移動や各種経費の負担軽減に繋がりますか。
- (委員) 会場に出向くには往復で1時間以上かかっていたので、非常にありがたく、会議に参加しやすくなる。

[九州地区アンケート]

《「WEB 会議形式」とした場合の懸念点等について》

- ① 業種別（保税、通関等）開催した場合
 - ・業種別での開催に賛成だが、多数の参加だと、発言しづらい方が多いと思う。事前に質問事項を集約し、会議の場で回答する形ではどうか。また、必要に応じて質問した方に発言を求めれば、双方で活発な意見交換が図れるのではないかと。
 - ・業種に特化した会議ができると思うが、保税についてはかなり業務が充実していると思うので、テーマがあるかどうか。
 - ・業種別開催について、特にありません。国家機関については、WEB 会議参加に使用する会議用アプリについて、自由にインストールすることが容易でないことから、WEB 会議に参加ができるかどうか不明です。
 - ・業種別に開催した方が必要な情報を取得しやすいかと思えます。また、似たような疑問や質問、問題点があるかと思えますので、そのような話を聞いて参考になるのではと思います。
- ② エリア横断的開催した場合／③ 業種別エリア横断的開催した場合
 - ・内容が分かる方、分からない方が出てくると推測される。業種別で開催した方が良いと考える。
 - ・その土地毎で問題があれば開催する意義があると思う。
 - ・参加者が少数になる事が懸念されます。
 - ・人数が多いと聞き取り難くなるのではないかと思います。

《地区協議会での議題》

- ・地域性、業種別により特異性があるため業種別が望ましい。
- ・システムは大変安定しており、サポートにも満足しております。現状では特に意見、要望はございません。
- ・通関関係で NACCS を利用する頻度が少ないため、特にありません。

(2) 地区協通信について

[成田空港・羽田空港地区]

- (委員) RSS があまり理解出来ていない。
- (当社) 登録や設定をしていただくと、ブラウザやアプリケーションに、リアルタイムで NACCS 掲示板の到着情報が通知される機能でございます。RSS に切り替えた場合、支障はございますか。
- (委員) 実際に使用してみないと分からないが、支障はないと思う。
- (委員) 今後の運用で RSS に切り替えた場合、見にくいと思う。

[横浜・仙台地区]

- (当社) 地区協通信ではなく、今後 RSS を登録し到着情報を確認していただくことに何か支障はございますか。
- (委員) RSS でも問題はない。

[九州地区アンケート]

《RSS/Atom 機能を活用した掲示板への掲載について》

○内容をタイムリーにお知らせすることが可能となり、従来の地区協通信より、幅広い情報を得ることが可能となります。地区協通信の継続発信のご要望や廃止した場合の不都合について

- ・地区協通信の継続発信を希望します。掲示板に更新があれば、メール等で案内が来るのであれば便利だが、こちらが都度掲示板を確認しに行くのであれば、現状のメール方式の方が便利だ。
- ・掲示板で見逃しやすい情報をタイムリーに知ることができるので、継続を希望する。
- ・RSS/Atomにて情報が入るのであれば地区協通信は廃止しても問題ない。不都合になる要素は今のところ思い当たらない。
- ・地区協通信については、継続的に発信していただきたい。
- ・地区協通信の廃止に賛成。若しくは希望者のみに配信が良いと思います。
- ・常に掲示板を見ていないので、タイムリーに情報を得ることができる地区協通信の継続を希望します。
- ・RSS/Atom 機能を活用させていただきます。完全に代替可能なものであれば従来の地区協通信の廃止に異論はございません。
- ・地区協通信がどのようなものかわかりませんが、掲示板でタイムリーなお知らせが可能ならば、必要ないでしょう。

(3) 地区協委員の役割について

〔成田空港・羽田空港地区〕

- (委員) 今後の地区協委員の役割について、明確な答えは浮かばない。従来は集合形式で代表を決めて地区協議会を開催してきたが、WEB 会議形式で多くの方に参加していただくと、従来のように代表を決めることなく、また意見集約等も行う必要がないため、委員は不要になってくるとイメージしている。他に委員の役割を見出せなければ、委員は解消を検討しても良いと思う。
- (委員) 業務を行っている者に対して、教育、指導、変更点等のお知らせ等を行うため、委員としての役割は必要ではないか。地区協議会というネーミングは変更して良いと思うが、委員の担当はあっても良いと思う。
- (委員) WEB 会議形式で大勢の方々の意見を伺う場合、一齐にWEB 会議に参加することは難しいと感じる。そのため、意見集約をする委員の役割は必要だと思う。

〔横浜・仙台地区〕

- (当社) 地区協の在り方について追加質問お受けします。WEB 開催にあたり、税関の方にとっての支障がないかお伺いします。
- (委員) 民間主催のWEB 開催に参加するときには税関内部で決裁を取る必要があるため、事前に周知していただければ参加できる。
- (当社) 事前に周知するようにいたします。

〔九州地区アンケート〕

《地区協議会委員として地区協議会への意見集約、議題や結果周知について》

○NACCS センターと利用者様とのパイプ役として、今までご負担をお掛けしてきたかと存じます。今後、地区協議会がWEB 会議でのオープン開催（現地区協議会委員以外の方も参加可能）となれば、皆様にご負担をお掛けすることが無くなるかと存じますが、この点について、ご意見をお聞かせください。

- ・WEB 会議形式での開催について異論ございません。いい試みだと思います。
- ・意見集約等の手間だけでなく、移動時間/費用の削減も図る事が出来る為、有益だと考える。
- ・幅広い業者に対して情報が伝わると思う。
- ・わざわざ1か所に集まる必要性はないと思うので、ウェブ開催がベストではないでしょうか。
- ・ウェビナー形式での参加も可能であれば参加者は増えるのではないかと思います。
- ・WEB 会議での代理出席が可能となれば対応できる幅が広がる為、日程調整等の負担軽減になる。

- ・開催場所への移動が不要となり、また、委員以外の方の参加可能となれば、いろいろな意見や情報が共有できる。
- ・WEB 会議の方がコロナリスクや移動時間削減になるため、支持いたします。
- ・少人数の事務所のため、利点の多い WEB 会議への移行を歓迎します。
- ・引き継いでから一度も開催されていないので、協議会自体がどのようなものかわからない。WEB 形式でのオープン開催であれば、負担が少なくなり助かるのは間違いないと思う。
- ・WEB でのオープン開催は良いことだと思います。参加できなかった方が後から見ることができるとなると、良いと思います。
- ・WEB 会議開催に限ってのことですが弊社においては WEB 会議に対応したスペース（会議室）がないため、長時間での会議の参加は厳しい環境にあります。短時間（30 分～1 時間）での開催及び開催回数を増やす等々弾力的に会議を開催していただければと思います
- ・開催場所の駐車場のスペースが少ないのでとても不便に感じていたため、それが解消されるので良いかと思います。

《地区協議会委員が不在のエリアについて》

○こちらについても WEB を活用し説明会、講習会等の NACCS センターの活動を活発に行いたいと考えております。この点についてご意見、問題点などございましたらお聞かせください。

- ・いい試みだと思います。WEB 会議などで講習会開催を希望します。
- ・会議は、皆さん多忙ですので、定例ではなく必要の都度開催が望ましいです。
- ・ウェビナー形式での参加も可能であれば参加者は増えるのではないかと思います。
- ・特にありません。まんべんなく情報共有できるので、問題ないと思います。
- ・開催が容易になること、講習会の開催も容易になることなど、積極的に WEB での活動を行っていただきたい。
- ・制限なく多くの方が説明会、講習会に参加できることはよいことだと思います。

第三部 NACCS を有効活用するための取り組みについて

(1) 虎の巻マスターシリーズについて

【成田空港・羽田空港地区】

- (当社) 現場の方が、ご自身で問題解決出来るような内容になっておりますか。
このような内容であれば活用出来る等のご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。
- (委員) 食品届の申請について業務を行ったことがないためあまり分からないが、内容は理解しやすいと思う。
FAINS マスターの共通管理番号リンクの留意点について、仮に申請は 5 件行っているが、4 件しかリンクされていなかったという場合、1 件申請漏れが起きた場合、1 件不足しているなどの通知は表示されないのか。
- (当社) NACCS には、そのような通知を表示する機能はございません。
プログラム変更要望として、年 1 回掲示板や業界団体で取りまとめがございますので、その際にご要望いただければと思います。
- (委員) 我々が主に扱っている業務ではないため、今のところ良い点・悪い点がよく分からない。
今後虎の巻マスターシリーズを追加していくと、社内教育で活用することが出来て有効な資料になるかと思う。今後も増やしていただければと思う。
- (当社) 具体的にどのような業務があればよろしいですか。
- (委員) 通関に関して内容を追加していただければ利用する頻度が増えていくと思う。例えば、通関の一連の流れに関連する業務を含めた形での虎の巻マスターシリーズを作成していただければと思う。
- (委員) FAINS の入力画面、入力箇所、入力方法が細かくマニュアル化されている資料に見える。今まで気づいていなかったが、非常に有効なものだと思う。例えば、輸出入申告 IDA、IDC 等の画面も同じような形式でマニュアル化されると、社内教育にも活用出来ると思う。

(当社) 内容につきましては、今後追加していく予定ですので、この機会に虎の巻マスターシリーズと照会業務を活用していただければと思います。

〔東京・札幌地区〕

(当社) 現場の方が、ご自身で問題解決出来るような内容になっておりますか。
このような内容であれば活用出来る等のご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。

(委員) 自社で簡易的なマニュアルを作成して、社内教育を行っていた。その観点からバンニングマスターは訂正方法を含めた業務についての説明情報がまとまっており、社内教育の際にはあえて自社用のマニュアルを作る必要がなく、大変便利になったと思う。

次の虎の巻マスターシリーズとして、照会業務である ICG の作成を要望したい。輸出・輸入どちらでも良く利用している。これは弊社だけでないと思う。

(当社) 照会業務についての掲載情報充実のご要望と思います。今後コンテンツ拡充の参考にさせていただきます。

ICG につきましては、早見表などを作成して公開する等を弊社で検討しております。その様なコンテンツがあれば、現場でご活用できますか。

(委員) 現場では ICG 画面を印刷して手書きでコード内容の説明を加える様な事もしている。早見表があれば、その様な手間が無くなりありがたい。

(委員) 通関業務を担当していた事もあり、その観点から大変見やすいコンテンツだと感じる。ただし弊社では平常決まった業務を行っているため、滅多にエラー等発生しないので利用頻度は低いだろう。

また、今後の検討課題にしてほしい。パッケージソフト画面で出力されるエラーメッセージについて調べる為に、別のブラウザを立ち上げて NACCS 掲示板を開く必要がある現状は使い辛い。パッケージソフト画面でエラーメッセージの説明を見られる様に簡素化して欲しい。

(当社) 説明を簡素化して見たいというご意見は、例えばパッケージソフトから虎の巻マスターシリーズを見たいという事で宜しいですか。

(委員) ご認識とおり、出力されたパッケージソフトのエラーメッセージ画面から 1 クリックで、エラーメッセージの FAQ ページの様な画面を呼び出す事が出来れば日常業務の省力化につながると思う。

(当社) 残念ながら現状、その様な機能を有しておりません。今後の改善活動の参考にさせていただきます。

〔横浜・仙台地区〕

(当社) 虎の巻マスターシリーズについてご意見を伺います

(委員) バンニングマスターは便利と感じており使用している。バンニングに使用する保税蔵置場、GY 等の入力コードを調べて入力している際、パッケージソフト内で使用する入力コードをショートカットで調べられる機能があれば便利だと感じる。

(当社) 社内ですらどういったときに使用していますか。

(委員) 訂正の仕方が分からないときや入力方法が分からないときに、業務経験の少ない若手を中心に、バンニングマスターを見ると解決することができると案内をしている。

(当社) パッケージソフトからアクセスできるようにしてもらいたいというご意見を伺いましたが、パッケージソフトの利便性を考えていかなければならないが改修には時間がかかりますので、短期的な施策として虎の巻シリーズにてサポートできればという想いで作成しました。

(委員) バンニングマスター、FAINS マスターを有効的に活用している。
今後、虎の巻マスターシリーズの要望はどちらにしたらよいか。

(当社) 資料上にサポート課の連絡先があるので、そちらよりご対応します。

(当社) 現時点で、バンニングマスター若しくは FAINS マスターでご希望のコンテンツはございますか。

(委員) 現在希望はないので、今後要望事項があるときをお願いしたい。

また、動物・植物検疫について、虎の巻マスターシリーズが出ると助かる。

(委員) 新入社員等の教育材料として使用している。今後も拡充するとのことですので引き続き使用し教育をしたい。

〔中部空港地区〕

(委員) ほとんど使っていません。業種が特殊であるからだと思います。

(当社) ご意見ありがとうございます。承知いたしました。機会がありましたらご活用くださいますよう、よろしく願いいたします。

(委員) 現場の担当者は、困った時は NACCS センターへ電話で問合せをしています。緊急の場合は従来通り電話をしますが、より業務をマスターするという意味で虎の巻を社員に展開して、時間のある時に見るよう広めていきたいと思っています。

(当社) ご意見ありがとうございます。引き続き、皆様への展開とご活用をよろしく願いいたします。

(委員) あまり使っておりませんが、機会があれば使っていきたいと思っています。

(当社) ご意見ありがとうございます。新任者の方にもご活用いただける内容になっておりますので、是非ご活用くださいますよう、よろしく願いいたします。

(委員) VAN も FAINS もあまり関わりがないので今は活用していないのが現状です。今後の展開次第では活用していくことはあると思います。

(当社) ご意見ありがとうございます。今後、機会がございましたら、ご活用いただければと思います。

〔清水地区〕

(委員) 私自身は、実務と違うところにいますので、正直使っていませんが、現場ではすくなくとも見せてもらっていると聞いています。

(当社) ご意見ありがとうございます。またご利用ありがとうございます。

(委員) どういうものがあるかというところで、NACCS 掲示板を見て、参考にはしているはずですが。

(当社) ご意見ありがとうございます。

(委員) FAINS について確認しましたが、一担当者なので全員わかりませんが、掲載されている認識はありませんでした。「こういうのが掲載されています」とは伝えました。ただ、現場の中で聞いて、解決はしているようです。

バンニングマスターについては、確認できておりませんが、あまり使われていないようです。何かあったときは、通関と連携をとりながら、対処しているようですので、バンニングマスターについても伝えたいと思います。

NACCS とのつながりがもともと通関は長いけど、海貨は途中からなので距離感があるように感じていますので、海貨には違うアプローチで積極的に広告や宣伝をしていったら良いのではないかと思います。

(当社) 貴重なご意見ありがとうございます。

〔名古屋地区〕

(委員) 掲示板で見たことはあります。通関業者のため、VAN は直接使っていませんが、FAINS は輸入担当者が参考にしております。良い取り組みだと思いますので、これから種類や説明が少ない業務を増やしていただきたいと思います。

また、システムのプロ変が行われた際もこういった資料を作成していただけると、理解につながるかと思います。

(当社) FAINS のご利用ありがとうございます。今後、別の業務の虎の巻の追加を考慮しておりますので、いただいたご意見を参考にさせていただきます。

プロ変については、今後、検討させていただきたいと思います。現在、現場の方に虎の巻はお使いいただいているでしょうか。

(委員) 虎の巻の存在は知っています。業務ではそれほど使用していませんが、先ほどの紹介にあったように、新たに業務に携わる者や直接業務に携わる以外の者にも非常に有効な資料だと思いますので、今後は活用していきたいと思っています。

(当社) ご意見ありがとうございます。現在はご利用されていないとの事ですが、一度目を通していただき、ご活用くださいますよう、よろしく願いいたします。

(委員) 虎の巻は利用しています。現場から問合せがあった時などは、虎の巻を見ながら

説明をしています。

(当社) ご意見ありがとうございます。今後も引き続きご活用ください。よろしくお願いいたします。

[大阪・神戸・広島・関西空港地区]

(委員) 問合せの多いものから虎の巻は作成していると思うが、ヘルプデスクに問い合わせがあった時に虎の巻に関係するものならば、回答する際に虎の巻の存在をその都度伝えていけば、困っている業者も見erようになると思うので、そのような取り組みを行ってほしい。

(当社) 問合せをするときは、まずヘルプデスクに問い合わせをすることが多いと思いますが、その際は虎の巻の存在を伝えて欲しいということですか。

(委員) そうです。やはり困っている方は見ると思う。

(当社) お客様も、自身で問題を解決できたほうが良いと思いますし、虎の巻に掲載されている情報は、お客様側で知っていたほうがよいということですか。

(委員) そう思います。

(当社) 虎の巻は NACCS 掲示板の TOP ページに掲載していますが、他にも虎の巻を見ていただくためには、どうすればよろしいですか。

(委員) 虎の巻は情報が多くわからなくなることがあるので、虎の巻の見方がわかるようなものが欲しい。

(当社) 虎の巻の手引きが欲しい、ということですか。

(委員) そうです。また、ヘルプデスクに問い合わせた時に、虎の巻を使いながら回答してくれると、今後使っていくうえで皆さん助かるのではないかと。

(委員) FAINS マスターで、検疫所に対しての入出力装置設置届出書の案内記述があります。設置届を提出してから、検疫所から NACCS センターへの登録依頼が入ると思うが、それがどのくらいかかるか記載してほしい。提出から実際に使えるまでの期間を要するのかわかるようになればなおよい。

また、以前に食品届で届け出した内容と、全く同じ内容を繰り返し部で活用できることは便利だと思うので、IIF で照会した情報を展開できることはよくある問合せに載せて欲しい。

更に、IIF 業務は申請者以外の利用者コードでは照会不可です。検疫所との兼ね合いと理解はするが、現場では人員配置等の関係上、他事業所と相互に業務フォローしている実態がある。同一企業内の利用者コードであれば、相互に照会できるようにしてほしい。

(当社) 設置届の登録処理は、弊社を経由せず、検疫所側での手続きと記憶します。そのため所要日数等の開示が可能か、本社担当より検疫所への確認と思われます。後日結果をご連絡いたします。

2 点目の IIF の活用方法につきましては、よくある問合せへの掲載を前向きに検討するよう本社担当へ伝えます。

3 点目ですが、現在の仕様では情報セキュリティの観点から、照会は同じ利用者コードを持つものでしかできません。なお、プログラム変更の要望については、毎年 4 月に行っており、関係団体を通じて伝えていただければと思います。

(委員) それで結構です。ご検討のほどよろしくお願いいたします。

(当社) WEB での研修会などを開催した場合は、ご参加いただけますか。

(委員) 自分たちに関係のあるものなら参加すると思うが、虎の巻は範囲が広いので内容によっては参加しないと思う。

(当社) 例えば、NACCS 掲示板でいついつに FAINS の研修をやり、違う日にバンニングマスターの研修をやり、と掲載して皆様に使い方を知ってもらえるのはいかがでしょうか。

(委員) 利用者の中でも掲示板の中で虎の巻を探して利用しているかは疑問であるため、そういう風にアクションをおこされるのはいいことだと思う。

(委員) 虎の巻は作成にどのくらいかかるのか。

確認した意図としては、もし、作成に時間がかかるなら題目の優先順位を決めたほうが良いと思う。問合せの多いものから作成しているのだと思うが、利用者の活用方法によって優先順位が変わってくると思われる。

例えば、社内研修の資料として利用するのであれば基礎的な題目の需要があるし、各社の取り扱い貨物によっても優先順位が変わってくると思われる。どのようなものが必要か利用者にアンケートを取るなどして優先順位を決めたらどうか。

(当社) 虎の巻の作成期間は、内容によって異なります。利用者様が何を必要としているかを確認しつつ、形作ることが大切であると考えています。今回の地区協議会の議題としたのは、正に何を必要とされているかを知りたく、確認させていただきました。

もちろん、虎の巻を見ていただき、こうしたほうが良いのではないかとのご意見は、今後、弊社としても参考とさせていただきます。

(当社) 本社からの補足といたしまして、昨年より、どうしたら皆様の役に立てられるか、NACCS をユーザーフレンドリーにできるか検討してきたところ、問合せの多いものが皆様お困りであろうと考え、問合せランキングを作成しました。その中で多いものをこの虎の巻シリーズ、後述するチャットボットの IDA のところで取り上げてきております。

第一弾はバンニングということで、質問が多い項目でしたので、どこが問題となっているのであろうかと NACCS センターのノウハウを結集して作り上げたのが虎の巻となります。議論をしていた中でお問い合わせをいただく皆様は立ち位置がわからない、時間的な流れの中で貨物が今どこにあるのかがわからない、ということがありました。この立ち位置がわかれば、お客様ご自身で自己解決できるようになるのではないかと、ヘルプデスクへも紹介業務に関する問い合わせが非常に多く、この紹介業務を見てくださるとアドバイスをすることが多いため、ここをまとめて虎の巻バンニングとなります。

また、これらは社員教育に使えるのではないかと、ヘルプデスクにかけることなく、自己解決していけるのではないかと考えております。実際バンニングに関する問い合わせは減ってきており、新人教育の時期である 4 月 5 月を過ぎても多くの方々にアクセスして、ダウンロードして実際に使っていただいております。

この虎の巻シリーズを問い合わせの多い項目から順に第二段、第三段と作成していくうちに、最終的には集大成として、NACCS の使い方マニュアルになるのではないかと期待しており、それがユーザーフレンドリーに繋がるのではないかと考えております。

〔九州地区アンケート〕

《虎の巻シリーズの有効性・継続性（他業務の追加）》

○チャットボットで業務系エラーコードへの対応開始について

- ・いい勉強になります。内容が分かりやすく、新人教育への資料としても活用させていただきます。
- ・現現時点で必要性を感じず使用した事がないが、他業務もあれば有益だと考える。
- ・手続きの参考になる。動物検疫申請業務を追加してほしい。
- ・マニュアルとして活用する事ができる為、今後も問い合わせ件数が多い業務や追加希望をおこなっていただけると良い。
- ・NACCS 業務は多岐に渡るため、個別にマスターを掲載していただけると非常に有効活用できるのではないかと期待します。食品だけでなく、動検や植防も掲載していただけるとありがたいです。
- ・初任者に説明するときなどに見てもらう資料としても、困った時の確認のための資料としても有効に活用できそう。
- ・社内教育に有効であるため、今後も継続してほしい。課員が FAINS マスターで業務をより深く理解したとのことです。
- ・新入社員の業務研修及び人事異動に伴う配置転換に大いに役立っている。船舶入出港関連 (VTX, VIT, VOT) についても是非、追加のご検討をお願いいたします。
- ・輸入業務に関しての虎の巻もあると助かります。
- ・海上関連が多いかと存じますので、航空関連の虎の巻を設けて頂ければ助かります。

(2) チャットボットについて

〔成田空港・羽田空港地区〕

- (委員) 質問内容を入力して質問が出来る認識だが、既に利用出来るのか。
- (当社) 現時点でリリースしているチャットボットは、パスワード・パッケージソフト・デジタル証明書・リアルタイム口座の限られた4つのコンテンツから、質問を選択して回答を表示させる形式です。
- (委員) 我々も使用したいと思う。現在 NACCS 掲示板に掲載されているチャットボットに、貴社の方で問合せを集約、頻度の多い問合せから順次追加されるイメージで良いか。
- (当社) 皆さまに有効活用していただけるのであれば、内容を追加していくことになりませう。もし使用していただければ、追加の予定はございませう。
- (委員) 現在の内容では、我々現場の方では、ほとんど使用することはないと思う。個人的にはNSS (NACCS サポートシステム) の使い方が分からず、ヘルプデスクに電話することが多いため、NSS について項目の追加を検討してほしい。
- (委員) 自社システムで業務を行っているため、NACCS を直接操作することはない。チャットボットの内容自体は、我々の現場で使用するような内容がないため使用することはないと思う。私も、NSS についてもう少し簡単に手続きを行えるようになれば良いと思う。
- (当社) 普段使用されている業務について、エラーコードを入力すると、解決方法が出てくる形式のチャットボットがあれば、お使いいただけますか。
- (委員) 搭載完了登録等がほとんどなので、あまり使用することはないと思う。

〔東京・札幌地区〕

- (当社) 現在のチャットボットに対するご意見、虎の巻マスターシリーズと絡めたご意見でも大丈夫ですので、このような内容であれば活用出来る等のご意見がございましたら、ご発言をお願いいたします。
- (委員) NACCS パッケージソフト等のインストール方法について、NACCS センターに問合せをした事が何度かあるので、チャットボットを使ってシステム導入まで案内いただければ大変有効だと思う。しかし、現状のチャットボットでは解決できる範囲が限られているので、開発中の IDA エラー説明を含めて一元化したチャットボット機能にさせていただけるとかなり有効になると思う。
- (当社) 業務エラーと NACCS システム導入時の案内を1つのチャットボットで行える様にして欲しいという事ですか。
- (委員) 一元化していただく事が理想だが、一元化が難しければシステム導入用のチャットボットであるのか、業務エラー用なのか明示した方が良い。
- (当社) 今回通関に関する IDA 業務エラーのチャットボット導入ですが、通関以外の業種の方からもご感想・ご意見を伺えればと思います。
- (委員) エラーコードについては有用だと思います。
- (委員) 直接実務に関わっていないので、感想になってしまうがシステムを利用される方にとってはとても有効なものと感じる。また先程ご意見があったとおり、案内への入り口は1つの方が利用者は使い易いのではないかと思います。

〔横浜・仙台地区〕

- (当社) チャットボットまたは先程の虎の巻シリーズの件でも構いませうので、ご意見をお伺いします。
- (委員) チャットボットでオペレートできるのは、使い勝手が良さそう。
いま登録されている物事以外のことについて、どこまでサポートされているか分からないので試してみたい。掲示板を見て、分からない場合はセンターに電話したいということは承知しているが、掲示板は情報量が多いことがあり、このようなチャットボットを使用してから、解決しないようであればヘルプデスクに問合せするようにしたい。
- (当社) 掲示板上の検索エンジンを変更したが、GOOGLE 検索は使用していますか。
- (委員) 最近は質問事項がなかったことから、使用していない。
- (当社) ぜひお試しいただきたい。
- (委員) チャットボットは使用したことがない。今後、使用してみたい。業務に不慣れな方が利用することで、解決に役立つものだと感じる。虎の巻シリーズも非常に見

やすく教育用の資料として活用している。

- (当社) IDA のチャットボットを今後リリース予定です。ヘルプデスクへ実際お問合せいただいたものの中から、解決した事例を紹介する機能となっています。IDA でエラーが出た際は、ぜひこちらをご活用いただきたく存じます。また、使用感をお聞かせいただけましたら幸いです。
- (委員) MFR でエラーが出た際、その原因について検索できるよう機能の追加は考えているか。
掲示板でエラーメッセージが出てきたとき確認はしているが、そういった問題点がすぐに解決できるようになればと思った。
- (当社) 今後、お問合せの多いものから順次構築していく予定です。ぜひ、皆様にお使いいただき使用感をお送りいただきたい。
- (委員) 新しい機能が追加されると今後利用料金は上がるか。
- (当社) チャットボットをお使いいただくことで利用料金が上がることはありません。お急ぎの方のみお電話でのお問合せ、それ以外の方はチャットボットを使用していきたいと思います。
- (委員) エラーコードについては IDA だけではなく他のエラーコードを拡張していただき、多様に対応できるようにしていただきたい。今後、虎の巻シリーズは輸入業務についてもサポートしていただきたい。
- (当社) 社内で広めていただければと思います。
- (当社) 中年度更改についての質問、第7次 NACGS についての質問等ございましたら承ります。
- (委員) 京浜港において国交省が、港湾情報システムの試験運用を実施してきており、4月から一部機能について本格稼働の予定。NACGS とどのように連動していくのかについて教えてほしい。
- (当社) 今日この場でお話しできる情報を持ちあわせておりません。確認し別途連絡させていただきます。
- 《後日連絡》現時点ではお知らせできる情報はありますが、今後、国交省様との調整により何かお知らせする内容が出てきましたら、掲示板等でお知らせします。

〔中部空港地区〕

- (委員) チャットボットの存在は知っていましたが、チャットボットで対応しているような事象が発生しなかったため、まだ利用したことはありません。
- (当社) ご意見ありがとうございます。
- (委員) チャットボットは利用したことがありません。緊急性のないお問合せに関しては、チャットボットで解決できると望ましいので、今後も様々な業務に対応していただけると良いと思います。
- (当社) ご意見ありがとうございます。チャットボットは、多くの方々にご利用いただければ、機能拡充が可能になりますので、今後はご利用いただければ幸いです。
- (委員) お問合せをすること自体がほとんどないため、チャットボットは利用したことがありません。また、お問合せする場合であっても、複雑で緊急性の高い内容の時の多いので、やはりチャットボットを利用する機会は今後も少ないかと思います。
- (当社) ご意見ありがとうございます。今後、機会がございましたら、是非チャットボットをご利用ください。
- (委員) 現状のチャットボットの仕様では、我々の抱えるお問合せには対応できていないため、チャットボットを利用する機会はありませんでした。ただ、今後のアップデート内容次第では活用できるツールだと思います。一点質問なのですが、「〇〇の業務に対応してほしい」等の要望を残すことができるような仕組みはあるのですか。
- (当社) ご意見ありがとうございます。チャットボット利用後に、コメントを残すことができる機能がございますので、そちらに「〇〇の業務に対応してほしい」等のご意見をいただければと思います。
また、チャットボットは多くの方々にご利用いただければ、機能拡充が可能になりますので、今後はご利用いただければ幸いです。

〔清水地区〕

- (委員) チャットボットは利用したことがあります。新しくリリースされるチャットボットについて質問です。パッケージソフト上で確認できる上でエラー内容とチャットボットで確認できるエラー内容に違いはあるのですか
- (当社) ご利用ありがとうございます。IDAのチャットボットの回答は、上下の2段書きとなります。
- まず上段には、NACCSパッケージソフトの対処法を再掲します。すべてのケースに当てはまる正しい回答なのですが、多くの内容が、「間違った部分の確認を求める」といった、やや具体性に欠けたものになっています。そこで、下段にもう少し具体的な対処法に踏み込んだ内容を記載いたします。ヘルプデスクにお問い合わせいただき解決に至った事例の紹介や、確認をする具体的な資料へのリンクの記載をします。すべてのケースに対応する回答ではないかもしれませんが、参考となるような解決事例の公開という位置づけで、ご利用いただけるのではないかと考えております。ヘルプデスクに電話やメールをするよりも素早く解決することができ、解決の一助になるものと考えております。
- (委員) 困り事が生じた際でも、会社内で解決してしまうことがほとんどですので、今日に至るまでチャットボットを利用する機会がありませんでした。今後、機会があれば活用していきたいと思います。
- (当社) ご意見ありがとうございます。是非ご利用いただければと思います。
- (委員) チャットボットは利用したことはありません。今後、機会があれば活用していきたいと思います。
- (当社) ご意見ありがとうございます。是非ご利用いただければと思います。
- (委員) 困り事が生じた際でも、社内の担当者に確認すれば解決できる事案が多く、チャットボットを利用する機会がありませんでした。今後、機会があれば活用していきたいと思います
- (当社) ご意見ありがとうございます。是非ご利用いただければと思います。

[名古屋地区]

- (委員) チャットボットは利用したことはありません。新しくリリースされる IDA 業務エラーに対応したチャットボットは、利用率が高くなりそうなツールだなという印象を受けました。
- (当社) ご意見ありがとうございます。新しくチャットボットがリリースされました、是非ご利用いただければと思います。
- (委員) チャットボットは利用したことはありません。現状の仕様だと対応できるお問合せが少なく、利用できる方が少ないかと思っておりますので、積極的に機能拡充をしていくと良いかと思っております。
- (当社) ご意見ありがとうございます。チャットボットは多くの方々にご利用いただければ、機能拡充が可能になりますので、是非ご利用いただければと思います。
- (委員) チャットボットは利用したことはありません。利便性は高いツールだと思いますので、機会があれば積極的に利用していきたいと思っております。また、対応している業務がまだ少ないとも感じますので、今後の機能拡充に期待しております。
- (当社) ご意見ありがとうございます。チャットボットは多くの方々にご利用いただければ、機能拡充が可能になりますので、是非ご利用いただければと思います。
- (委員) チャットボットは利用したことはありません。対応できるお問合せはまだ少ないと感じますが、即時に回答をいただけますので、大変利便性の高いツールだと思います。今後の機能拡充に期待いたします。
- (当社) ご意見ありがとうございます。チャットボットは多くの方々にご利用いただければ、機能拡充も可能になりますので、是非ご利用いただければと思います

[大阪・神戸・広島・関西空港地区]

- (委員) チャットボットで出ている回答がパッケージソフトのエラーメッセージよりも具体的なような気がする。
- (当社) IDAのチャットボットの回答は、上下の2段書きになっています。まず上段には、NACCSパッケージソフトの対処法を再掲します。ここは、ご質問のとおり、パッケージソフトのエラーメッセージと同じになります。ただし、多くが「ここが間違

っているので『確認してください』という内容となっています。そこで、後半部では、具体的な対処法に踏み込んだ内容となっています。

(委員) わかりました。参考とさせていただきます。

(当社) チャットボットの回答には解決に至った事例の紹介や、確認をする具体的な資料へのリンクの記載をしておりますので、解決の参考にしていただければと思います。

(委員) エラーコードがあったらどうしてもヘルプデスクに問い合わせしていたので、チャットボットによって時間が短縮することは間違いない。先ほど議論に出た虎の巻と同様に、簡易マニュアルがあるとよい。確認だが、これはリアルタイムで反応するのか。

(当社) そのとおりです。リアルタイムです。

(委員) 回答が用意されていて、すぐに回答が返ってくるということか。

(当社) 左様です。回答がすぐに返ってくるならば、まずチャットボットで確認する方が、ヘルプデスクに問い合わせるよりも問題解決も早くなると思いますが、いかがですか。

(委員) そう思う。また、電話と違って過去の問合せた内容を再確認できることも実務担当者として有効であると思う。

(当社) 問合せは NACCS 掲示板の資料などからも問題解決ができますが、今回のチャットボットでは回答に資料へのリンクが張られており、そういう意味でもお客様自身で問題解決ができると思います。ありがとうございました。

(委員) 承知した。

(当社) 本社からの補足として、先程 IDA 業務以外にも追加してほしいとのご要望がありましたが、このチャットボットは皆様に積極的に使っていただきませんと、このチャットボットのプロジェクト自体が消えてしまうものとなっております。今後チャットボットをアップグレードし、もっと容量の大きなチャットボットにしようとしているところですが、昨年の地区協会で説明していても知らなかったという委員の方がいらっしやいましたので、各業界、社内に宣伝していただいて、使っていただければ IDA の次の業務コードも追加されていくこととなりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

(当社) 加えて申し上げたいこととして、一つは NACCS ご利用時にエラーコードが出る場合は次々と出てしまうことが多いですが、チャットボットはエラーコードを入れれば簡単に検索できるということで、場合によっては電話するよりも早く解決に結びつくこともあるかと考えますので、よろしくお願いいたします。

もう一つ、NACCS センターヘルプデスクの特徴として、緊急時に対応できなければならぬというのがあります。飛行機が飛んで行ってしまう、船が出ていってしまう、税関が閉まってしまう等、他のヘルプデスクとは違うそういった緊急時の対応が重要となっている。その時に他の掲示板でも解決できる電話で回線がふさがってしまうと、緊急時の問い合わせをお待たせしてしまう事態を引き起こします。我々としては今回ご紹介したチャットボット、虎の巻シリーズ、Google カスタム検索により検索能力が向上しました。こういうもので解決できる方は解決していただいて、ヘルプデスクの方は、緊急の方々が使えるようにしておきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

〔九州地区アンケート〕

《「チャットボット」がエラーコードに対応することについて》

- ・今のところ利用はないが、今後活用させていただきたい
- ・最終的には全ての業務においてチャットボットを導入して頂けるとありがたい。
- ・利用していないので不明。基本的には時間的な都合から電話対応が望ましい。
- ・試みとしては良い取り組みで、他業務系エラーコードも追加になればちょっとした事でも電話で問い合わせをする事なく解決できれば利用者と NACCS センター両者の負担が軽減され効率化が図れる。
- ・エラーコードの参照の時間短縮につながるのではと期待します。
- ・Naccs に表示されるエラーメッセージだけではどう解決したらよいか分からないことがある。具体的な解決のためのリンクが表示されたりするので、いいと思い

- ます。
- ・すぐに対応ができるので、非常に良い取り組みだと思います。
 - ・現状の業務内容では自社システム内で対応できております。
 - ・簡単な質問などは、特に AI の活用が良いと思います。NACCS センターへの手間も減るならなおさら良いと思います。
 - ・これにより解決できることが多くなれば、人に繋がらなければ解決しない事案について電話が繋がりやすくなることにもつながると存じますので、非常に有用と存じます。

以上

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地区	業種	氏名	所属
成田空港地区	航空会社(貨物)	鷲山 正明	株式会社JALカーゴサービス
成田空港地区	航空会社(貨物)	野村 勝利	日本貨物航空株式会社
成田空港地区	航空会社(旅客)	久住 典子	株式会社JALスカイ
成田空港地区	保税蔵置場	石井 琢二	国際空港上屋株式会社
成田空港地区	保税蔵置場	鷲山 正明	株式会社JALカーゴサービス
成田空港地区	保税蔵置場	半田 丈	日本通運株式会社
成田空港地区	混載	山田 直秀	日本通運株式会社
成田空港地区	通関	佐藤 啓仁	NAX JAPAN株式会社
成田空港地区	通関	三浦 広	西日本鉄道株式会社
成田空港地区	通関	黛 英紀	フェデラルエクスプレスジャパン合同会社
成田空港地区	税関	加藤 宗彦	東京税関 総務部
成田空港地区	税関	内堀 明	東京税関 成田税関支署
成田空港地区	税関	藤田 知昭	東京税関 成田航空貨物出張所
成田空港地区	税関	阿部 茂	東京税関 成田航空貨物出張所
成田空港地区	税関	竹内 達也	東京税関 成田航空貨物出張所
成田空港地区	税関	山岸 昌彦	東京税関 東京航空貨物出張所
成田空港地区	税関	佐藤 浩道	東京税関 東京航空貨物出張所
成田空港地区	当社出席者	辻 忠史	カスタマーサポート部サポート課
成田空港地区	当社出席者	高田 紗矢香	カスタマーサポート部サポート課

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地 区	業 種	氏 名	所 属
羽田空港地区	航空会社(貨物)	高比良 勇	株式会社ANACargo
羽田空港地区	航空会社(旅客)	松下 祥子	株式会社JALスカイ
羽田空港地区	保税蔵置場	村岡 勲	日本通運株式会社
羽田空港地区	混載	寒河江 智也	西日本鉄道株式会社
羽田空港地区	通関	牧野 勝利	株式会社日立物流バンテックフォワードینگ
羽田空港地区	税関	加藤 宗彦	東京税関 総務部
羽田空港地区	税関	藤田 依子	東京税関 羽田税関支署
羽田空港地区	税関	石黒 大介	東京税関 羽田税関支署
羽田空港地区	税関	松原 英明	東京税関 羽田税関支署
羽田空港地区	当社出席者	辻 忠史	カスタマーサポート部サポート課
羽田空港地区	当社出席者	高田 紗矢香	カスタマーサポート部サポート課

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地 区	業 種	氏 名	所 属
中部空港地区	航空会社	川口 修穂	株式会社ドリームスカイ
中部空港地区	代理店	後藤 英夫	名鉄観光サービス株式会社
中部空港地区	保税蔵置場	武内 慎一郎	三井倉庫エクスプレス株式会社
中部空港地区	通関	高橋 恭一郎	株式会社近鉄エクスプレス
中部空港地区	混載業者	清野 順次	日本通運株式会社
中部空港地区	税関	山田 直樹	名古屋税関総務部
中部空港地区	関係業会	深見 学	名古屋通関業会
中部空港地区	関係業会	森 ゆかり	名古屋税関保税会
中部空港地区	当社出席者	村上 泰弘	東海事務所
中部空港地区	当社出席者	川面 恵美	東海事務所
中部空港地区	当社出席者	野々山 裕子	東海事務所
中部空港地区	当社出席者	切明 悠人	東海事務所

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地区	業種	氏名	所属
関西空港地区	航空会社	川路 清志	CKTS株式会社
関西空港地区	蔵置場	鈴木 修	株式会社ANA Cargo
関西空港地区	混載	山口 真人	西日本鉄道株式会社
関西空港地区	通関	高橋 克典	株式会社阪急阪神エクスプレス
関西空港地区	代理店	松田 睦史	日本通運株式会社
関西空港地区	代理店	合田 敏子	株式会社近鉄エクスプレス
関西空港地区	代理店	大丸 咲子	フェデラルエクスプレスジャパン合同会社
関西空港地区	機用品	上野 孝一	株式会社エイエイスケータリング
関西空港地区	税関	紙谷 幸宏	大阪税関 関西空港税関支署
関西空港地区	税関	上田 雅彦	大阪税関 関西空港税関支署
関西空港地区	税関	國光 建治	大阪税関 関西空港税関支署
関西空港地区	税関	伊藤 公一	大阪税関 総務部
関西空港地区	当社出席者	大野 王央	カスタマーサポート部 関西事務所
関西空港地区	当社出席者	上原 憲子	カスタマーサポート部 関西事務所
関西空港地区	当社出席者	畑中 優作	カスタマーサポート部 関西事務所

2020年度 N A C C S 地区協議会 参加者名簿

(福岡空港、博多、那覇地区については、アンケート回答者)

地 区	業 種	氏 名	所 属
福岡空港地区	航空会社	中丸 智子	株式会社JALカーゴサービス九州
福岡空港地区	航空会社	平田 台	ANA福岡空港株式会社
福岡空港地区	航空会社	河根 理人	キャセイパシフィック航空
福岡空港地区	保税蔵置場	橋本 光司	福岡エアーカーゴターミナル株式会社
福岡空港地区	混載・通関・航空貨物代理店	萩尾 智幸	インターナショナルエクスプレス株式会社
福岡空港地区	混載・通関・航空貨物代理店	富岡 稔	株式会社ジエネック
福岡空港地区	混載・通関・航空貨物代理店	上野 晃徳	株式会社近鉄エクスプレス
福岡空港地区	混載・通関・航空貨物代理店	岩崎 志行	サンキュエアロジスティクス株式会社
福岡空港地区	混載・通関・航空貨物代理店	米満 拓馬	西日本鉄道株式会社
福岡空港地区	混載・通関・航空貨物代理店	津留崎 孝徳	日本通運株式会社
福岡空港地区	混載・通関・航空貨物代理店	渡辺 圭祐	郵船ロジスティクス九州株式会社
福岡空港地区	通関	村上 浩	株式会社阪急阪神エクスプレス
福岡空港地区	機用品	橋本竜馬	ロイヤルインフライトケイタリング株式会社
福岡空港地区	検疫所	西岡 覚	福岡検疫所福岡空港検疫所支所
福岡空港地区	入国管理局	塩原 健緒	福岡出入国在留管理局

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地 区	業 種	氏 名	所 属
札幌地区	通関	濱野 洋司	株式会社栗林商会
札幌地区	通関	堀川 博美	北海運輸株式会社
札幌地区	通関	名倉 裕一	株式会社ニュートレーディングブリッジ
札幌地区	通関	星 博明	室蘭海陸通運株式会社
札幌地区	税関	中 崇	函館税関 総務部
札幌地区	当社出席者	辻 忠史	カスタマーサポート部サポート課
札幌地区	当社出席者	垣内中佑輔	カスタマーサポート部サポート課

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地区	業種	氏名	所属
仙台地区	税関	伊東 幸治	横浜税関仙台塩釜税関支署 取締第1部門
仙台地区	税関	高橋 雅明	横浜税関仙台塩釜税関支署 通関部門
仙台地区	通関	齊藤 武史	株式会社丸山運送
仙台地区	保税	柴田 洋佑	株式会社ニチレイ・ロジスティクス東北
仙台地区	C Y	伊藤 勇二	塩竈港運株式会社
仙台地区	港湾管理者	田邊 光悦(代理)	宮城県 土木部
仙台地区	通関	児玉 雅和	日本通運株式会社
仙台地区	通関	吉田 芳隆(代理)	東邦運輸倉庫株式会社
仙台地区	船代	山根 元	三陸運輸株式会社
仙台地区	C Y	後藤 直	三陸運輸株式会社
仙台地区	当社出席者	高梨 宣博	カスタマーサポート部サポート課
仙台地区	当社出席者	遠藤 香那恵	カスタマーサポート部サポート課

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地区	業種	氏名	所属
東京地区	船会社	金川 裕司	オリントオーバーシーズコンテナラインリミテッド日本支社
東京地区	CY	福島 正浩(代理)	株式会社宇徳
東京地区	CY	松原 寛	日本郵船東京コンテナ・ターミナル(株式会社ユニエツクスNCT)
東京地区	CFS	井上 貴之	株式会社宇徳
東京地区	蔵置場	富田 健一	株式会社日新
東京地区	通関	東海林雄一	互興運輸株式会社
東京地区	通関	池田貴久美	東京貿易運輸株式会社
東京地区	通関	藤森 大毅	株式会社日成
東京地区	通関	関本 啓	日本通運株式会社
東京地区	通関	榎本 伸二	丸全昭和運輸株式会社
東京地区	海貨業	佐藤 洋一	岡本物流株式会社
東京地区	海貨業	高橋 慎一	内外日東株式会社
東京地区	NVOCC	堀切 正彦	郵船ロジスティクス株式会社
東京地区	輸出入者	和佐 健志	双日ロジスティクス株式会社
東京地区	税関	加藤 宗彦	東京税関 総務部
東京地区	税関	福田 勉	東京税関 監視部
東京地区	税関	井上 裕司	東京税関 監視部
東京地区	税関	金子 光真	東京税関 業務部
東京地区	当社出席者	辻 忠史	カスタマーサポート部サポート課
東京地区	当社出席者	垣内中佑輔	カスタマーサポート部サポート課

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地区	業種	氏名	所属
横浜地区	船会社	渡辺 典亜	CMA CGM JAPAN 株式会社
横浜地区	船会社	佐藤 しおか	株式会社ケイ・エム・ディ・エス
横浜地区	船会社	新矢 敏之(代理)	郵船コーディアルサービス株式会社
横浜地区	船会社	松田 直人	ワールドトランスポート株式会社
横浜地区	船舶代理店	金子 晃三(代理)	相模運輸倉庫株式会社
横浜地区	C Y	野地 請憲	鈴江コーポレーション株式会社
横浜地区	C Y	芦田 昇栄	三菱倉庫株式会社
横浜地区	保税蔵置場	柳野 大輔	三井倉庫株式会社
横浜地区	通関	石塚 洋子(代理)	トナミ国際物流株式会社
横浜地区	海貨業	石川 健	株式会社石川組
横浜地区	海貨業	小山 幸雄	富島運輸株式会社
横浜地区	NVOCC	仲田 善彦	セイノーロジックス株式会社
横浜地区	関東地方整備局	江口 敦	国土交通省関東地方整備局
横浜地区	関東地方整備局	日下 広貴	国土交通省関東地方整備局
横浜地区	港湾管理者	鈴木 康弘	横浜市港湾局
横浜地区	動物検疫所	永野 敬太郎(代理)	農林水産省 動物検疫所
横浜地区	税関	梅津 仁	横浜税関 総務部 システム企画調整室
横浜地区	税関	菅 秀隆	横浜税関 監視部 総括・許可部門
横浜地区	税関	阿部 俊臣	横浜税関 監視部 保税地域監督官(保税総括部門担当)
横浜地区	税関	山崎 幸彦	横浜税関 業務部 通関総括第1部門
横浜地区	当社出席者	高梨 宣博	カスタマーサポート部サポート課
横浜地区	当社出席者	遠藤 香那恵	カスタマーサポート部サポート課

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地 区	業 種	氏 名	所 属
清水地区	船舶代理店	中島 秀明	株式会社天野回漕店
清水地区	船舶代理店	森下 康成	鈴与株式会社
清水地区	船舶代理店	片平 吏洋	清水ユナイテッドエージェンシー株式会社
清水地区	C Y	杉山 修進(代理)	鈴与株式会社
清水地区	保税蔵置場	佐野 正武	株式会社天野回漕店
清水地区	通関業通	牧田 雄文	鈴与株式会社
清水地区	通関業通	外山 達也	鈴与通関株式会社
清水地区	通関業通	高橋 道弘	清和海運株式会社
清水地区	海貨業	杉山 年伸	株式会社天野回漕店
清水地区	海貨業	鈴木 宗伸	清和海運株式会社
清水地区	税関	山田 直樹	名古屋税関総務部
清水地区	関係業会	鈴木 幸次	名古屋税関保税会清水支部
清水地区	関係業会	山崎 昌	清水港船舶代理店会
清水地区	当社出席者	村上 泰弘	東海事務所
清水地区	当社出席者	川面 恵美	東海事務所
清水地区	当社出席者	野々山 裕子	東海事務所
清水地区	当社出席者	切明 悠人	東海事務所

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地区	業種	氏名	所属
名古屋地区	船舶代理店	森 智弘(代理)	旭運輸株式会社
名古屋地区	C Y	貴船 雅輝(代理)	旭運輸株式会社
名古屋地区	C Y	楊 祖一	名古屋ユナイテッドコンテナターミナル株式会社
名古屋地区	保税蔵置場	伊藤 卓	伊勢湾倉庫株式会社
名古屋地区	C F S	禾木 学(代理)	東海協和株式会社
名古屋地区	C F S	田畑 智史(代理)	名港海運株式会社
名古屋地区	C F S	吉原 立実	三協株式会社
名古屋地区	通関	寺本 淳哉	名港海運株式会社
名古屋地区	通関	池田 温子	日本トランスシティ株式会社
名古屋地区	通関	石川 卓央(代理)	ナゴヤ SHIPPING株式会社
名古屋地区	海貨	馬淵 和義	中京海運株式会社
名古屋地区	海貨	堀田 学	愛知海運株式会社
名古屋地区	税関	山田 直樹	名古屋税関総務部
名古屋地区	港湾管理者	有田 昌史	名古屋港管理組合
名古屋地区	関係業会	坪井 伯彦	名古屋通関業会
名古屋地区	当社出席者	村上 泰弘	東海事務所
名古屋地区	当社出席者	川面 恵美	東海事務所
名古屋地区	当社出席者	野々山裕子	東海事務所
名古屋地区	当社出席者	切明 悠人	東海事務所

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地区	業種	氏名	所属
大阪地区	船舶代理店	越智 文規	三菱倉庫株式会社
大阪地区	船舶代理店	平郡 謙一	株式会社辰巳商會
大阪地区	船舶代理店	辻本 由徳	島本海運株式会社
大阪地区	C Y	中山 紀昭	日東物流株式会社
大阪地区	C Y	中安 耕一	株式会社辰巳商會
大阪地区	保税蔵置場	島田 浩明	株式会社ニチレイ・ロジスティクス関西
大阪地区	通関業者	小泉 友厚	近畿通関株式会社
大阪地区	通関業者	永井 亮一	日本通運株式会社
大阪地区	通関業者	杉山 高士	住和港運株式会社
大阪地区	海貨業	角高 憲治	松菱運輸株式会社
大阪地区	海貨業	廣瀬 康博	大洋運輸株式会社
大阪地区	港湾管理者	山本 耕平	大阪府 港湾局
大阪地区	港湾管理者	山野 修二	大阪府 港湾局
大阪地区	国土交通省	谷上 健二	近畿地方整備局 港湾空港部
大阪地区	税関	今西 宏次	大阪税関 監視部
大阪地区	税関	近田 圭三	大阪税関 監視部
大阪地区	税関	寺岡 和之	大阪税関 業務部
大阪地区	税関	吉岡 克也	大阪税関 業務部
大阪地区	税関	伊藤 公一	大阪税関 総務部
大阪地区	当社出席者	大野 王央	カスタマーサポート部 関西事務所
大阪地区	当社出席者	上原 憲子	カスタマーサポート部 関西事務所
大阪地区	当社出席者	畑中 優作	カスタマーサポート部 関西事務所

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地区	業種	氏名	所属
神戸地区	船舶代理店	菊地 美騎	日東物流株式会社
神戸地区	C Y	浦田 慎也	三菱倉庫株式会社
神戸地区	C Y	岩崎 由周	三菱倉庫株式会社
神戸地区	通関業者	鈴木 直人	株式会社後藤回漕店
神戸地区	通関業者	難波 邦子	湍澤倉庫株式会社
神戸地区	通関業者	秋山 卓也	日本包装運輸株式会社
神戸地区	通関業者	奥村 忠尚	義勇海運株式会社
神戸地区	海貨業者	小堀 晃	株式会社後藤回漕店
神戸地区	海貨業者	為則 知博	株式会社大森廻漕店
神戸地区	港湾管理者	田城 徹	神戸市 港湾局
神戸地区	港湾管理者	大塚 秀樹	神戸市 港湾局
神戸地区	国土交通省	谷上 健二	近畿地方整備局 港湾空港部
神戸地区	国土交通省	今村 憲司	神戸運輸監理部
神戸地区	海上保安庁	福井 久祐	第五管区海上保安本部
神戸地区	税関	川久保 吉能	神戸税関 監視部
神戸地区	税関	森田 健次	神戸税関 監視部
神戸地区	税関	渡部 和典	神戸税関 業務部
神戸地区	税関	三宅 純一	神戸税関 総務部
神戸地区	当社出席者	大野 王央	カスタマーサポート部 関西事務所
神戸地区	当社出席者	上原 憲子	カスタマーサポート部 関西事務所
神戸地区	当社出席者	畑中 優作	カスタマーサポート部 関西事務所

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

地区	業種	氏名	所属
広島地区	船舶代理店	神建 綾	株式会社ヒロクラ
広島地区	船舶代理店	池田 純郁	マツダロジスティクス株式会社
広島地区	CY	岩田 直之	マツダロジスティクス株式会社
広島地区	保税蔵置場	吉原 清隆	株式会社シーゲートコーポレーション
広島地区	保税蔵置場	河相 安利	広島空港ビルディング株式会社
広島地区	混載・通関	溝崎 純	マツダロジスティクス株式会社
広島地区	航空貨物代理店		
広島地区	通関業者	芝田 幸二	株式会社ヒロクラ
広島地区	港湾管理者	上場 慶一郎	広島県 土木建築局
広島地区	港湾管理者	前田 修弥	広島県 東部建設事務所
広島地区	国土交通省	鶴岡 俊英	中国地方整備局 港湾空港部
広島地区	税関	鳴海 浩一	神戸税関 広島税関支署
広島地区	税関	米田 美由紀	神戸税関 広島税関支署
広島地区	当社出席者	大野 王央	カスタマーサポート部 関西事務所
広島地区	当社出席者	上原 憲子	カスタマーサポート部 関西事務所
広島地区	当社出席者	畑中 優作	カスタマーサポート部 関西事務所

2020年度 N A C C S地区協議会 参加者名簿

(福岡空港、博多、那覇地区については、アンケート回答者)

地区	業種	氏名	所属
博多地区	船舶代理店	佐藤 哲也	東海運株式会社
博多地区	船舶代理店	大谷 貴史	極東海運株式会社
博多地区	船舶代理店	佐伯 浩志	相互運輸株式会社
博多地区	船舶代理店	今村 賢太	鹿児島海陸運送株式会社
博多地区	船舶代理店・保税蔵置場	上野 真稔	日本通運株式会社
博多地区	C Y	神宮 和秋	門司港運株式会社
博多地区	C Y	美戸 一博	日本通運株式会社
博多地区	C Y	田中 健司	三菱倉庫株式会社
博多地区	C Y・通関	河野 隆信	山九株式会社
博多地区	保税蔵置場	九谷 智彦	山九株式会社
博多地区	保税蔵置場	本田 雄也	山九株式会社
博多地区	保税蔵置場	石田 佳路	下関海陸運送株式会社
博多地区	保税蔵置場	三戸 邦仁	三井倉庫九州株式会社
博多地区	通関	植田 政昭	門菱港運株式会社
博多地区	通関	久保田 英之	関光汽船株式会社
博多地区	通関	廣瀬 大輔	住友倉庫九州株式会社
博多地区	混載・通関・航空貨物代理店	田中 浩明	住友倉庫九州株式会社
博多地区	通関	平松 俊輔	長崎倉庫株式会社
博多地区	通関	清水 健二	株式会社共進組
博多地区	通関	境 徹	トクヤマ海陸運送株式会社
博多地区	通関	大澤 武矢	東海運株式会社
博多地区	海貨	上淵 圭司	グリーン SHIPPING株式会社
博多地区	海貨	坂井 達也	日本通運株式会社
博多地区	海貨	柴田 一夫	門司港運株式会社
博多地区	港湾管理者	島田将嗣	福岡市港湾空港局
博多地区	港湾管理者	村岡 栄治	北九州市港湾空港局
博多地区	整備局	阿比留 裕一	国土交通省九州地方整備局
博多地区	運輸局	松尾 裕	九州運輸局
博多地区	海上保安庁	橋本 亮一	第七管区海上保安本部
博多地区	海上保安庁	國師 愛生	第十管区海上保安本部
博多地区	検疫所	瀬戸山 竣也	福岡検疫所
博多地区	税関	西嶋 浩之	門司税関総務部
博多地区	税関	小林 亨	長崎税関総務部

2020年度 N A C C S 地区協議会 参加者名簿

(福岡空港、博多、那覇地区については、アンケート回答者)

地 区	業 種	氏 名	所 属
那覇地区	船会社	仲程 圭	南西海運株式会社
那覇地区	船会社	米須 晃司	琉球物流株式会社
那覇地区	保税蔵置場	前底 清正	琉球物流株式会社
那覇地区	通関	高木 千賀子	琉球物流株式会社
那覇地区	船舶代理店	新垣 貴史	沖縄港運株式会社
那覇地区	船舶代理店	上地 一成	有限会社沖縄シブスエーゲンシー
那覇地区	船舶代理店	比嘉 允史	有限会社沖縄国際海運
那覇地区	C Y	加島 光一郎	沖縄ポートターミナル株式会社
那覇地区	保税蔵置場	金城 森也	沖縄第一倉庫株式会社
那覇地区	通関	島袋 唯	沖縄第一倉庫株式会社
那覇地区	保税蔵置場	長嶺 豪	那覇埠頭倉庫株式会社
那覇地区	保税蔵置場	神里 歩	株式会社ホクガン
那覇地区	航空会社・通関	小室 英治	株式会社ANA Cargo
那覇地区	通関	平良 健子朗	沖縄空輸株式会社
那覇地区	通関	島袋 健一	沖縄ディーエフエス株式会社
那覇地区	通関	瀬名波 耕平	沖縄日通エアカーゴサービス株式会社
那覇地区	通関	西平 守勝	海邦通関株式会社
那覇地区	通関	吉里 真弘	沖縄荷役サービス株式会社
那覇地区	通関	宜野座 雄	大成通関株式会社
那覇地区	通関	高山 和真	沖縄ヤマト運輸株式会社
那覇地区	通関	大城 孝	株式会社藤浦通関
那覇地区	通関	玉城 義行	株式会社宮古通関
那覇地区	港湾管理者	金城 貴俊	那覇港管理組合
那覇地区	運輸局	小松 正弘	沖縄総合事務局
那覇地区	海上保安庁	濱川 由佳子	那覇海上保安部
那覇地区	検疫所	貴嶋 哲郎	那覇検疫所
那覇地区	税関	大竹 晶哉	沖縄地区税関